

第4回生涯学習推進基本計画策定委員会会議議事録

1 開催日

平成23年5月25日（水）午前10時～午前11時30分

2 会場

学習交流センター 2階 201 会議室

3 出席者

委員：久野弘幸、三宅章介、富樫佐智子、小出敬剛、佐々木幸一、柴本靖子、谷端浩明
新谷千晶、小澤能子、東洋子 10名

市役所：事務局（塚本次長、鈴木課長、深津、福森）4名

連絡調整会議委員（柴本専門監、近藤専門監、野々山専門監、伊藤課長、深谷課長
花井課長）6名

計20名

4 内容

(1) あいさつ

- ・塚本次長
- ・久野委員長

(2) 議題

- ・第3章 生涯学習推進の基本構想について

⇒深津補佐より送付した資料に従い、原稿の計画書と比較しながら変更部分の説明

《意見及び質疑応答》

谷端委員

- ・生涯学習の情報提供について、ホットラインやホームページでは限界がある。情報を広め伝え合う方法を考える必要があると思う。

久野委員長

- ・市民から市民へ情報を伝達し広め合うために、具体的にどのようにすればよいのが課題と思われます。

東委員

- ・今回の計画書では、「たまり場」という表現が消えたのが残念に思う。将来的には複合施設がその目的をもつこととなるのかもしれないが、直接的には用事のない人でも、集える場所・ゆとりの場所が欲しい。このような場から情報を共有することができると思う。

久野委員長

- ・原稿の計画では、「たまり場」がチャッチフレーズであったが、今回の計画書では「基本理念でチャッチフレーズの部分を1本化しているので、たまり場との関連性がないわけではない。

新谷委員

- ・資料P4の基本方針（1）①市民のニーズにこたえる講座の開催について、内容的

にはよいが、具体的な表現の言葉に変更したほうがわかりやすいと思う。

久野委員長

- ・ 以上の意見に対し、基本方針の（２）については表現【「と情報交流」を追加】を変え、（４）の中に「たまり場」の表現を追加するなど、言葉の表現について検討してもらいたい。

⇒ 検討します。（事務局）

三宅委員

- ・ 遊びと学習（学び）は違う。そこをしっかりと踏まえ「たまり場」の言葉を使うべきです。

久野委員長

- ・ いろんな人が集まる場所、同じ思想を持った人が集まる場所で、本来の機能をじやましない、目的を踏まえた居場所ということですね。

柴本委員

- ・ 人との出会いの中で学びあっていくことが重要だと思います。「たまり場」とは、「にぎわいの場」「出会いの場」など、目的意識をもった場と解釈します。

久野委員長

- ・ 言葉の持つ意味は、時代とともに変わってきます。その辺を踏まえ計画書への反映をお願いします。

⇒ 分かりました。（事務局）

久野委員長

- ・ P４の計画の体系について、※の新たな課題の記載方法がわかりづらい。記載方法を工夫したほうがよいと思います。

⇒ 分かりやすい記載方法を検討します。（事務局）

小出委員

- ・ P４の計画の体系は、原稿の前計画書のP６２のチャッチフレーズのような内容を踏まえているのですか。

久野委員長

- ・ 基本理念がチャッチフレーズのようなものと考えればよいと思います。

小澤委員

- ・ 今回の計画書では、基本理念とチャッチフレーズをまとめすっきりしたように思います。

富樫委員

- ・ P４の計画の体系（３）①みよし市市民人材バンクとは何ですか。

⇒ 生涯学習活動の指導者登録を生涯学習課でおこなっておりましたが、この４月より情報を一元化し共有することを目的に、みよし市人材バンクの制度を取り入れることになりました。とりまとめは市民活動支援課です。（深津補佐）

⇒ ７月より運用する予定で進めております。広報やホームページ等で紹介する準備を進めております。（塚本次長）

富樫委員

- ・ 生涯学習の最終目的は、自分が身に付けた知識や技量を、社会に還元することと考

えています。人材バンクに気軽に登録、運用できる制度となるように期待します。

久野委員長

- ・ 人材バンクの運用については、ぜひ検討をお願いします。

⇒ 解りました。(事務局)

三宅委員

- ・ 現行の計画書の P 6 3 の生涯学習推進の目標で、「学びの喜びや人の和を広げ、潤いのあるまちをつくります。」とありますが、文章の中の「和」の持つ意味をしっかり踏まえないといけない。検討中の計画書についても、社会的な意味を踏まえ表現することに注意を払ってもらいたい。
- ・ 本来学びは個人的なことであり、個人が気が付くことであり、一人一人大事にすること、個人があつて社会があることを忘れてはいけない。

佐々木委員

- ・ 三宅先生の意見に同感します。

小澤委員

- ・ 計画の体系を、分かりやすいように表にして欲しい。たとえば、基本理念を表し、基本目標を箇条書きにするなど、掲載方法を工夫してはどうか。

柴本委員

- ・ 基本理念と基本目標は、すべてに関連性があるようにも思いますので、特に関連のある部分を意識的に線でつないではどうでしょうか。

三宅委員

- ・ 基本理念の 4 つは、形容詞であるので体系図として独立させるべきでない。

久野委員長

- ・ 基本理念と基本目標の関連性がわかるように、色・線等で関連づけて表記し、基本方針はより体系的に表していく方法はどうでしょうか。

谷端委員

- ・ 生涯学習は、学校教育とは異なるので、「楽しく学ぶ」という表現を入れて欲しい。

久野委員長

- ・ 基本方針（４）学習環境の整備に「楽しく集える（学ぶ）場所の整備」を入れてはどうでしょうか。

以上を踏まえ事務局にてまとめて頂きたい。

⇒ 本日の意見を参考に、検討しまとめて行きます。(事務局)

(3) その他

深津補佐

- ・ 次回策定委員会を、9月1日（木）午前10時～11時30分に予定しています。検討し頂いた結果は、委員長に確認後改めて皆さまに送付します。

鈴木課長

- ・ 貴重なご意見をできる限り反映させて、修正をしていきます。次回会議・パブリックコメントに向けてもよろしくお願いします。